NO. 69 2.24 共產主義者同盟 政治

T- 4/26 一岛中央权力 こと貫徹 校划性 問争の 戦列を強化せ

熊気について 四月世保・中韓国争りの生活級行中 全国党自己争の当面の民民的

を領導しなければはらなり。ではらなり、全国学園共和一全学車の結束した尾中よって革命党派としてのヘゲモニーを顕微しなけれる。年間西光学を中軸に(神神神神)全国箱集に

前治の時代における帝国主義専問への統合と反前統 反帝三派をほじめ 動の目標である。 争基間になりかくことの表現である。これでなこと モド発展であ に东大した。四国争及う我々によって町り に我々は直面しているのであり、これは目的貢記的 けることによって五名ー名に、六八年四分、六九年 ればないない の限界住を根底的に突破すること ソスエト運切との対決にまるます。主暗殺司 階級関係と該会制的相合的自争の 日本階級自争史上初の未和の領域 諸党派の全国結集でけんりこは これな当 こられて

て歪りな地方主義である。 好発で東京の困難性なら生体をおしばかるのは極め白に発展、上间、開揚を皇本的スウ勢としている。日間で見てツセンストの激発、展用である。自当は明の東大国第16、19以後の全区学自由争の品面は全

蓮老林園知しているようで、東太以降の大学即争初で17321とである。ブルジョウ社会の実際で期間とて、一のモとに巨大な自然が生性な物理、吸引されるには及及る真的高度化をもって旧界ならの学宮田寛を住をもって大学学国町争な組むされたこと、あ発展の特質は以下の実である。オーは空保への目的発展の特質は以下の実である。オーは空保への目的

急慢(力の大学少七一大学)と療化をとの傷の紀四 る。 すびのち四回写白一との語言情報は を最近にヒビ人なる。世家態がに移りせど 複」東大自革統括参照)として、四の引き宝は て自然発生性に厚発してきているとい 南色、 安保 - 沖縄目手の政治内容をもって西郷州、 大一個学一神大に與聖的な事態は「山を物語って」 組むこれに自争。 Eということである。 マボーロー 町争を可能とさせたサンディカリズムの参照 には数多くもちながら の機能的展開は、影響に歴大、日天節手に マッセンストライクだだの広大、持続 との限界性を四月旬争にあいていかにこえるのかを じて世永にようとするものである。 **約削車の徹底性をで換してはなしえなみったこ** そこて更にソコハの重称とッち、江のり撃的民 いの報料研にはまた ら創門を写り 打造化芝画

が危権を。の一環が反帝国争によって追りあげられ 一と、すな时ち、侵略、ITE、反革命と、対決し附 じている女配的級の危機と、より大きな共同幻想の 討見刀阻止という異常な状況を成熟させてきている 強い環である学生戦振から慣出していることである 行として、飲じとって弱い暖であり 的片付里切への乾燥を浮部に国いとりつつ てきていること、どのもつとと深化した表現が階級 腕をまだ的にせの

宝田保由手と

こて

宇男こて

けく とである。このことが日前の侵略。対外膨脹を反応 ている階級対立の雑化と緊張の対時状況を東に破杯 のである。一时は東大人討解此一即止によって生 どの物理的敗北にもなないらず、国立一期節校 に夫行的に立命領、閉学にあいて最後まで前から山 般医在では安服にえの直接的な人試実打阻止がさて だからころ宮西においては個別前争の単純で 的田鏑期にあける日帝の国民校白軸の再ね氏 命強化と結合して

居用ある戦後

前囚主

割亡

早の

危枝 、混乱に追いこむ全階級国争の民臭とはっているへ への方根を企图する攻撃への移行とどいかモモら 味方にどって 較可四 ラの

Y # T3 て対 日いし 展 環 57 K 1 17 胸在 浬 联 7 1 £ 12 ではて的 X 11人故 5 1 À Ì ・つ行る 3 ME IF 7 上 M 小 的 ii _ 白式統川生 そ化不利切きに個別 11 1 % ジョアンの到来できる。一个被 D 1/ in る **(**" 拝て 0×断下·〈南别权震长为嗣义 析 回 同至 4 _ 拟 À のご負权りも10 30 国 * 力之水 2 ٧ ET 新斗卫 刀置 All M され 美国 ٧, a E V 15 (会) 日本 (金) 一番 (本) 一番 (本) 一番 (本) 3 で性 で、例 で日徒会る個 8 拳体炎用 8 4 1 芝厅 万丰川 Fai 自 5 の食 э **从 A 馆** 0 59 · * 4 治 り炎再打偕 65 W 前被1 擬 Ł 7 ・専 設成に更を言弦 • 程成制 民国 百额 0 U そに其 前そ 利台体付权分二 10 00 以 好 依 3-1 × 1 × 廷守 小·耳 ⋖ A 5 方が南西的人で 15 ___ 相 華 · 4 (1 35 15 3 5 文形 ---移标 = (丁至 かり .1. 11 とめ 初带 53 くらせ 室性行 1 7 ジェイ 1 无 老 小安 随時リア ヨですり 7 5 3 Á. ĭ 47 بخ るのほ るの等 M ¥ Ξ あるで大路関 T 丰 . • 值力 正. PF 1 1 至 付下独的 鋤 1 理 . 1 日 97 ` ン 7 暴力 に念 ĭ ٤ 主厅来自 反 9 T 展例之儿日芹 動小 To やほりか治 万保 荃 1 E 15 围 11 ·λ =;" ኦ 1 そでるていま的爪をカ ボと 命卫 根のし 目 习 復 E X __

ら地数目 7 7. 自下 之位 12 12 K 计 が、ラカル K. ÷., - 5° Х 1 ۲ 3 沢 ハ 旅 包 1 1 ٨ 1 团 、る定 就国第一 特 E 結 堂 二的化水命 $\overline{}$ 然权值 4 - 11 N. 1 × 而已入化会力技艺者 图 · 7 段模 母こり 改権へる 形 主 • 上模保 美 補 15 梅刀灰分級 誓 Ħ 金面的尽力を ĸ **然图级** 1 班最要YA 採 化的 がすき面 下 ける 抜け U Α 141 此 人 帝民、大主 ヨ つ 34 下言小长众旅谈权众 奚 NE. E V 11 = ン 4 -1 事保 16 つセ放政でン合線 、ド分割 Α 拓 $\stackrel{\star}{=}$ 線軍 1 领车 人区 10 X Z ¥ a F ۸. * Y 21 4 = E NE Y 47 Z ·紅目 × 11 3 百工 語が代表 ~ Ξ 1= 耐 化成 包 3 と明党ブ · 14

> 18 €. 红 17 0 = ti 4 KIR ダ 茱 有 乗 K 21 11 3 1 × 16 1 3 ン 10 命里丁 铋管 1 101 X. 11 5 か同勝 惊 净 Y 27 41 T. 13 **联至公**校 校书 歌道 力ん代育河

3 X X X @ 1 ٠٢٠ - L 0 8 万く年 W から 面安片 3 しり保 VX 3 1 斗 7 。佛 4 举 至 钢 K. 1= 7 根研 久 Z 製电 旧 K th 911 8 形封 成鎖 7 ţ 1 . . -2 中八 Ý 聚. リ E" 权工 11 14 X. 71 at K 1 一型的 4 M =

芳 3 12 1 41 8 F 1 1 10 5 千 M Ł È 13. Ø 1 · int 盾がゴ 4: 6 鄞 妆点法 15 K 7 - p7 X か 、镁 17 動 践 シ. . . 1" Id 2 目形 10 45 £(ゥ 明 7 1 £3 311 ₹ 4/ R.Z 11 -(2 W. 94 6. * 11 Ä 1 F) * 1 典 仁夫 1) Λ 1 3 VXXE 老 11.4 WY 0 : 3 11 67 仔 1 义一破 13 13 拦 手争の (il 57 100 1 11 12 `光 Ţ 1 ZB. 2 :57 F. s/ FI W 塔 -X2 到 7 X? F 7. Œ. 例 街车 > 聖斯 打痂 W 2 衙門 L 学 こ 1 K ď. 4 由 (12 K 1= 3 1 三成 3 Ę を火 11 7 3 CL 34 之 方科中和 35 11 5 工作项目 カド Ł 種的代 1.3 とけす \$7 .13 3 12 13 11 W 副仓分谷

七中央权力斗等人 センスト・ソデ そして、市民社会の深部でくりかえし田生するマツ えて進展するなイ 攘から無として確保し続けること、その心脈部へ るとのとして対領、バリ、占拠等を位置づけ / シのとして対領。パリ,占拠等を位置づけ、斗での和垣的現実化としておしす / めること、か いる限りにお レタッアー工場ンへおしなげること 環である。 在的に体現 能性と展望一般をあれ ふさわしい日帝打仆 エト 北 極的には それは全く現実的なことなのである。 11 的展望 イエト的団結の形成を、その最も死 ナミズ だから 題なのではなく、革命的敗 いて、 の結合の 持続 武装 动 伛 をなしとげること、 蜂起 们 4 一時的家紋的幻 7 目的意気性ノブらづけら ŧ での物理的以北をのいこ のマ 2 いる単命の現実 液及左こだわ ・安保料の政 マ 論ずるのでな センスト の解放区か 北くは 結合環を これが 以治内容 、北主义 の直接 性 から、 Ò 22 2

望みうるし

7

そ

水

1 的敗

狸

地域ツァ

The UD

I

局面の中央权力斗争爆奏 松京 ってきた とし 大斗甲以降、斗甲の冠揚を代表 その原点は京大人就実力阻止斗争にしばられた。 われることである。 地をもっ 体を関西と中 現局面で特殊な後退を東京では強い 定的に打築するべきことを意味している。 1 た地方 は、 かる特質をもって重撃した全四年 Z, 权力 ・そ と周辺である。東京は日大、中 この全面的質量飛躍を実践的 0 の入試時期の煮つまりの中で 心とした斗甲で反撃し、4月に勢を決 攻撃の前にうちくずされた $\stackrel{\wedge}{\mathfrak{O}}$ 生階級的斗争環であり、 《したのは 図四を中心す 争にしばられた。東 られる 国斗甲は 八支 えきい この西 これは の根状 ら、全 墂

争の やむ 全 L 交派的 改略重点 图鲍 のきかを失し 中大斗争は て回題は午月斗甲とそれ 根状地が 2 日の代の歌等人の攻撃を、 口的記場のなかで行わなければならない 全 的克服を の転気は、 それ、る後退として再確認するどのである。そ [] って不充分にしかない引ていなかった 拠点的一環にふ 性のみならず、全気派1眾家全共斗Mの実践 的よ気の 1 アルジョア社会での地位、斗争の安。、 山立一期校午校の入試阻止斗争に 一時後退し よってなしと、けることである。 、以上のごとさ方向性の確認と当面の なった。このことは一中大五年自体 21日の入 N の見ばから、 はならない。八半年を発言は 心塚は、 政商 さわし たことであり、この雨れ紫を 試阻止、用バリ和公当年で 大学、民青 への253月全日学国斗 い政治組織指ド 京大五年に全型の竹髪 入試阻止斗争のため 炭西に 斗号の実施、 3n 3 が政治局 ことの主 さし 京は瀬 ニスト そして 830 0) 7 7

あり、その粉砕任人をもって 後型の まさかえ さの いる。 心として七京大斗気

を現

₹

設定にある。二水は、 日共、民青の京大 だ入試病所の設定し 泉、これをの 入試員敵勢力の幻想性、教量、 段をもって新好することである。更見取るで としてあることである。、府民、きる名の下 役らにとって、 研奏の指見一油さと公然と同的するこ く3万の反革命勢力結果の巨大を気講をありり にうちだしたことである。 オーは、これら 二天を確認しなければならない 1810の相乗である。 りこんることが、巨大な苦報 起死回生の大次がの設定をより奇明 杠內所計台前 1 公衣をなしえない段階でしろり の臭中実は は、東大山寺に 知事すらせき 7 全章部府 バルトラ (大学) 哥 ひにさ、ア おけるツ W/ () 民集会小 ; Ť 全回 10 た衙 1 1=

盟けすでに、 新学を回続次起皇をとして并いとることである。 終力希集に直ちにはい 半年をけん引し 気十大学夫斗、 の里共斗、とくに示大、 のもと、反帝鼓交派、とり の田四芳学は、秋 これに充える道、それ そ の 財型坎方 主次すること、それを引入該指導 一时行动 すい の任人についており ることである。 夫斗の統一アヤ 1.2 何のい ih n 同盟の かん はしめ 全 にかか 17. [] ıV 五美 らず ą.

3= 一万年年祝世起皇会 計台前

実麻 凹的に果中する二とである。 オニは、 の粉砕をめざし、関西を基動に、 これをなしうることによってみろ入試の 武斗形勢を全

1/26 ② 3/15 以上の緊急の任山七重ち 中央权力斗争八所经方、下又大智中程攻 字)への一貫したとりくみをつよめ ヤク台 反南節気化へ中核、ML」共同声明 に安保新 1 存在帝協議祭の展覧とか 0 11 とし

3 全共斗雨編を内でしたまたヤ月大全寺也我一面 李 部 建をめてしての全年で2回大会を多かり してやりぬくことである。 ため